

2020年11月26日

高知県の東南端に位置し、独自に発展した町、室戸市。

さらに、豊かな自然を活用した取組が評価され、「ユネスコ世界ジオパーク」に認定されています。「室戸世界ジオパークセンター」は、ジオパークの楽しみ方を知り、実際のフィールドを巡り、人と大地の共生について考えるきっかけづくりとなるためのビターセンターです。



室戸世界ジオパークセンター企画展

「民話と伝説でつながる室戸ユネスコ世界ジオパーク」

日時：2020年12月5日～2021年1月31日 9:00～17:00

場所：室戸世界ジオパークセンター 2F フリースペース(高知県室戸市室戸岬町1810-2)

昔話について、地域の方と一緒に調査し、パネル展示を行います。

展示のポイントその①

企画展のテーマは室戸ユネスコ世界ジオパーク内で受け継がれてきた民話や伝説

室戸で受け継がれてきた民話が、市内のどのエリアで受け継がれてきたのかを、大きな地図とともに解説。また、地域の方からお借りした巻物や衣装などの資料展示から、室戸の歴史文化を紐解いていきます。

展示のポイントその②

地域の方が「1日先生」に！室戸の伝統行事についての講演会を開催

2021年1月16日(土) 11:00～11:30

1日先生として佐喜浜在住の西河誠司さんをお迎えし、「室戸市佐喜浜の町の地域信仰～文献から読み解く伝統祭事・俄とミニ四国八十八ヶ所～」と題した講演を開催。今回は佐喜浜の秋の例祭(佐喜浜八幡宮大祭)で奉納の舞として披露される「俄(にわか)」を取り上げます。また、佐喜浜の山の中腹にある「ミニ四国八十八ヶ所」についても触れ、地域の人々によって大切に守られてきた場所の歴史と意味を探ります。



展示のポイントその③

子どもから大人まで楽しめる室戸の文化体験ワークショップを実施

地層キャンドル作り

- 企画展期間中の土日祝日（12月12日、19日、1月1日～3日は除く）
- 10:00～16:00（最終受付時間15:30）
- 料金：¥500
- 作業時間目安：30～60分
- 室戸の縞々の地層をカラーサンドで表現した大好評のワークショップです。室戸ジオパークに訪れた際のお土産品に一ついかがでしょうか。

漁師さん直伝ミニビン玉編み出前ワークショップ

- 12月12日（土）
- 11:00～14:00（最終受付時間13:30）
- 料金：¥1,000～4,000
(ビン玉の大きさによる)
- 昔々の漁で使われていたガラス製のビン玉を使い漁師さん直伝の編み方を習います。
今回はクリスマスバージョンのロープも準備しました！
可愛いミニビン玉でクリスマス気分を盛り上げましょう。

主催：しいな遊海くらぶ

お正月はもうすぐそこ！ミニ門松づくり

- 12月19日（土）13:00～※要事前申し込み
- 料金：¥2,000/1セット
- 定員：5名以上10名まで
(定員に達し次第募集停止)
- お正月が間近に迫る時期。
室戸産の材料を使って楽しくミニ門松を作りましょう。
- 申込：0887-22-5161（小笠原）
もしくはQRコードからお申し込み！

取材に関する問合せ先（当日の取材、インタビュー、資料提供等に関するここと）

■室戸ジオパーク推進協議会 担当：高橋

高知県室戸市室戸岬町1810番地2 室戸市観光ジオパーク推進課

TEL:0887-22-5161 FAX:0887-23-1618 E-mail:mr-011200@city.muroto.lg.jp